

# 1 業界情報

業界の動向や  
企業の関係性の情報など  
新聞・ニュース以外の  
情報源をご案内します。



就活にも  
活用できます！

## オンラインコンテンツへのアクセス

学内 Wi-Fi (konan-net) に接続

図書館 HP にアクセス

データベース

経済・ビジネス情報を探す

## 業界地図

規模や動向、企業の関係性が一目で分かるように図式化された業界情報の基本ツール。  
複数の出版社から出版されています。



**解説**  
深く理解するための+α  
分らないことがあったら、  
新聞記事や雑誌記事検索で  
さらに深く調べてみよう。

**企業関係図**  
売上高やシェア  
グループ関係

**業界名**  
分類の仕方は出版社によって異なります。  
注目業界や新興業界は別ページに  
特集されていることも

**業界天気予報**  
景気が上向きであれば晴れ。  
出版社によって判断が異なるので、  
比較してみてください。

**最近1年間の動向**  
業界地図は毎年発行されるので、  
過去年度も確認してください。

※画面例：東洋経済『業界地図』2018

冊子

2階中山文庫  
就活・資格コーナー

データ  
ベース

『日経テレコン』 > 「業界情報」  
『東洋経済デジタルコンテンツライブラリー』

## 日経 NEEDS 業界解説レポート (日経テレコン)



日経の専門記者による業界レポート。

プロフェッショナル向けで少し難しいですが、情報更新が早いのが特徴。  
遅くとも毎月、早いときは毎日のニュースと同じ速さで更新されます。

データ  
ベース

『日経テレコン』 > 「業界情報」

### ■ビジネス情報ってなに？

経済と企業活動に関する情報です。業界全体の動向に関する業界情報と、個々の企業の活動状況に関する情報である企業情報があります。また、ビジネスのノウハウや自己啓発など、企業活動をサポートする資料も含まれます。

業界情報や企業情報は日々更新されています。気になる業界のニュースは、新聞やインターネットなどでも追いかけるとよいでしょう。ただし、新しい情報が多いからこそ、長期的な視野を持つことも重要です。

### ■ビジネス情報の種類

ビジネス情報は、発信者によって、大きく3種類に分けられます。

一つ目は、「企業自らが発信する情報」で、自社ホームページ、有価証券報告書、プレスリリース、社史、広告などです。自社にとって有益となるよう各企業が工夫を凝らして発信するため、マイナスイ面を掴みにくいですが、基本となる情報です。

二つ目は、「第三者が発信する情報」で、新聞記事、雑誌記事、アナリストレポートなどが該当します。業界を俯瞰したり、他社と比較するなど、ビジネス情報に精通した記者が独自に評価した情報が発信されま

# 『就 活』in Library

就職活動で行う「業界研究」や「企業研究」に必要な情報も、図書館で収集できます。

まずは、自分が志望する業界について調べましょう。といっても、どんな業界があるのか分からない、という人は、ビジネス雑誌を読んでみてください。最新号は図書館1階雑誌コーナーに、バックナンバーは図書館2階雑誌コーナーにあります。オンライン版は、図書館ホームページからアクセスできます。ビジネス雑誌は、ビジネスパーソンや投資家向けの雑誌です。パラパラと読むだけでも、どんな業界が注目されているのかを知ることができます。

ある程度業界を絞り込んだら、業界地図などで市場動向や競合状況を調べながら、「どんなことが起きたら、その業界に影響があるか」を考えてみましょう。気にしておく、ニュースにも反応できるよようになります。また、業績を公開していない中小企業を志望している場合でも、業界の動向を掴むと、漠然とした予測ができます。

志望する企業が業績等の企業情報を公開している場合は、過去5年分は確認してください。大きく変動している年があれば、新聞や雑誌、有価証券報告書などで理由や対応を調べてみましょう。業績がV字回復していても、リストラなど従業員にとってはありがたくないことが背景にあるかもしれません。また、景気に左右されずに業績が安定しているなど、特徴的なことがあれば、その企業がどのような活動をしているのか調べてみる価値があります。

事業内容を読むときは、売上構成の確認も必須です。企業イメージと異なる分野が売上を支えていることも珍しくはありません。前年と比較すれば、伸びている分野が分かります。

株主情報から、思わぬ企業との関係性が分かることがあります。企業情報は他の企業と比較することで、特徴が見えてくるので、同業他社や同規模企業などと比べてみましょう。株主情報の他にも、取引先や連携先など、関連する企業の名前が挙げられていることがあります。そこから業績のよい企業と協働している企業を探すこともできます。

数字が苦手なら、その企業で働く人の情報を集めてはどうでしょう。新聞記事や雑誌記事データベースで、社長や役員、創業者のインタビュー記事が見つかることがあります。

## ●専門データベースガイダンス



図書館では、『日経テレコン』や『eol: 総合企業情報DB(有価証券報告書データベース)』について、毎年、外部の専門講師によるガイダンスを実施しています。ビジネス情報に馴染みがない学生でも、就活に活用できるよう、丁寧に説明していただけます。詳しくは、『My KONAN』でお知らせしますので、チェックしてください。

図書館HPの図書館ガイダンスのページから、オンライン講座の受講もできます。

# ビジネス雑誌

ビジネス専門の週刊誌。速報性では新聞やインターネットに劣りますが、背景や事情を深く掘り下げていたり、業界の特集号や、インタビュー、ランキングなど、初めて業界情報を調べる人も使いやすいツールです。

## 【代表的なビジネス雑誌】



※最新号は1階、過去2～3年は2階雑誌コーナー、それ以前は雑誌館サイバーライブラリに所蔵しているビジネス雑誌もあります。

## ●ビジネス雑誌データベース

### 日経BP記事検索サービス



日経BP社が発行するビジネス雑誌やWebメディアの記事、業界地図などが利用できます。新着ニュースやよく読まれている記事、関連記事へのリンクなどがあり、興味に合わせたビジネス情報が収集しやすいデータベースです。

## 東洋経済デジタルコンテンツライブラリー



『東洋経済』のほか、四季報などの東洋経済のデータブックが利用できます



継続年数や男女比など様々なデータがチェックできて、おすすです。

す。そのため、企業自身が発信する情報より客観的で、社会的な意見も反映された内容になります。三つ目は、「研究者が発信する学術情報」で、経済・経営分野の研究者による学術書や学術論文などです。最も冷静に分析・検証された情報ですが、発信は遅くなります。

## ■ビジネス情報を楽しむ

例えば、投資するなら、どの企業がいいか、と考えながら株価情報を見てください。株価情報は、インターネットや新聞の株価情報欄などで簡単にチェックできます。

株価はビジネス情報だけでなく、政治、社会、気象などあらゆる情報から影響を受けます。ニュースや新聞記事データベース、ビジネス雑誌などで、株価が動いた理由を調べると、ビジネス情報はより面白くなります。